



## **For Immediate Release**

### **GFI グループの FENICS<sup>SM</sup> とみずほ銀行が新契約を締結**

#### **日本の主要銀行が FENICS<sup>SM</sup> Professional を継続採用**

2010年1月25日ニューヨーク発 – GFI Group Inc. (NASDAQ: “GFIG”)は日本のみずほ銀行に FX マーケットの主要システムである FENICS<sup>SM</sup> Professional を継続してご採用頂いたことを本日発表いたします。みずほ銀行は 2002 年以來 GFI FENICS<sup>SM</sup> のユーザーとなって頂いて居ります。

みずほ銀行市場営業部調査役の石井智士氏から次のようなコメントを頂いて居ります。

「FENICS<sup>SM</sup> は通貨オプション市場におけるプライシングソフトウェアとして大きなシェアを持っており、インターバンク取引に不可欠なソフトウェアとなっています。また、通貨オプション市場の拡大に伴い、ユーザーのニーズに適応した機能が順次導入されてきました。現在は、プライシング時の安定したゴールシーク機能に加え、非線形リスクの計算・ストラクチャープライシング機能・マーケットデータ配信サービスなどを備えており、ディーラーのポートフォリオ運営を強力にサポートしてくれるツールであると思います。

FENICS は通貨オプションプライシングソフトの中でも信頼性・利便性が高いソフトウェアの 1 つであり、今後もさらにディーリングと直結し使いやすいソフトウェアとなっていくことを期待しております。」

GFI FENICS<sup>SM</sup> の日本ヘッドである金沢淳夫は次のように話しています。

「GFI FENICS<sup>SM</sup> の新バージョン FENICS 12.1 は、新機能として顧客向けターム・シートの作成、顧客別のプライスのスプレッティング、営業部門や支店ネットワーク向けリテールスキームの送信といった為替営業に極めて有益な機能を追加しています。このような FENICS<sup>SM</sup> Professional の拡張性によって常にお客様にご満足を頂いて居ります。」

GFI FENICS<sup>SM</sup> のグローバル・ヘッド、リチャード・ブラントは更に加えて、「この地域全体で弊社ビジネスは成長を続けており、弊社の革新的な開発により新規のお客様を加えると同様、既存のお客様にも更に使用を拡大していただいています」と語っております。

FENICS<sup>SM</sup> Professional はプライシング、トレーディング、リスク管理、STP(ストレート・スルー・プロセッシング)から構成されるパッケージで、FX オプション取引とライフサイクル管理を単一のインターフェースで管理することが可能です。

GFI FENICS<sup>SM</sup> は全世界で 350 以上の顧客を持ち、金融のみならず一般企業でもご使用いただき、多くのユーザーからソリューションへの高い評価を得ています。

#### **GFI Group Inc. [www.GFIgroup.com](http://www.GFIgroup.com) について**

GFI Group Inc. (NASDAQ: “GFIG”) はグローバルな金融市場の多数プロダクトに対応するホールセール・ブローキング、電子取引執行、トレーディングプロダクトを提供しています。GFI Group Inc. はクレジット、金融、エクイティ、商品取引といった広範な市場の機関投資家にブローキング・サービス、マーケットデータ、トレーディング・プラットフォーム、分析ツールを提供しています。フェニックス ソフトウェア リミテッドは GFI Group Inc. の完全子会社です。

1987年創業でニューヨークに本社を持つGFIは現在ロンドン、パリ、香港、ソウル、東京、シンガポール、シドニー、ケープタウン、サンチャゴ、ドバイ、ダブリン、テレアビブ、カルガリー、イングルウッド (NJ)、シュガーランド (TX) に支店を持ち、1,700名以上の従業員を擁しています。GFI Group Inc.は主要投資銀行、市中銀行、保険、ヘッジファンド、一般企業を含み2,100社以上の企業をサービス、製品を提供しております。GFI<sup>SM</sup>、GFI<sup>net</sup>®, CreditMatch®, GFI ForexMatch®, EnergyMatch®, FENICS®, Starsupply®, Amerex®, Trayport®はGFIの登録商標です。

<将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statement) >

このニュースリリースには、米国1995年私的有価証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act of 1995) に規定されている「将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statement)」が含まれています。このプレスリリースで、「予想する」、「信じる」、「見積もる」、「可能性がある」、「意図する」、「期待する」およびこれらの類義語の記述は、将来予想に関する記述にあたります。実際の結果、業績は、ここに含まれる将来予想に関する記述によって、明示的、黙示的に予想されたものとは異なるかもしれません。これら将来予想に関する記述はGFIグループ(「会社」)の予測に基づいており、様々なリスク、不確実な要因を前提としています。これら様々なリスク、不確実な要因は、取引量に影響を与える経済的、政治的、市場的要素：証券価格、あるいは弊社のブローキング・サービスの取扱量;現在あるいは新規の競合他社；弊社の人材への訴求力(有能なブローカーを含む)；弊社の新製品、新市場開発力；弊社事業、運営、許認可事業を管轄する政府法規、法律の変更；社内管理運営能力;弊社がブローキング・サービスを提供している市場の弊社顧客、市場参加者の経営的困難；技術変革能力、訴訟に関する不確実性；等を含みますが、それらだけに限定されるものではありません。弊社の財政的、その他の実績に営業を与える可能性のある要素については、弊社が米国証券取引委員会に提出したものに詳述されております。弊社はこれらの将来予想に関する記述を更新/改正し、情勢に適合させる責任は一切負わないものとします。

当記事に付いて、或いはその他情報については下記にお問い合わせ下さい。

Patricia Gutierrez  
Vice President - Public Relations  
GFI Group Inc.  
55 Water Street, 28th Floor  
New York, NY 10041  
Tel: (212) 968 2964  
Mob: (646) 717 4379  
[patricia.gutierrez@gfigroup.com](mailto:patricia.gutierrez@gfigroup.com)